



入院のしおり

ご入院時必ずご持参ください



入院患者さま お名前



ご入院日時： 年 月 日 時 分 にご来院ください

■ 入院の手続きについて	3
■ 入院費について	4
■ 設備・備品について	6
■ 持ち物について	9
■ 入院生活について	14
■ 手術について	17
■ 退院について	18
■ 適切な医療提供と安全のために	19
■ その他 ご相談・申し出など個人情報保護	21
■ 病院概要	22

1 入院手続きについて

① 書類について

入院される方は、入院申込書に必要事項をご記入いただき、以下の書類を受付にご提出ください。

提出書類等	チェック欄
入院申込書（兼 誓約書）	
個人情報使用同意書	
セットレンタル利用申込書兼同意書（ご利用を希望される方のみ）	
患者さま・ご家族の方へ（入院：問診票）	
手術等承諾書一式	
健康保険証・マイナンバーカード	
診察券	
高額療養費 限度額適用認定証：P.4・P.5をご参照ください。	
公費受給者証(お持ちの方のみ)：前期高齢者受給者証・難病・心身障害・子ども受給者証 等	
退院証明書（直近3ヶ月以内に他の医療機関に入院したことがある場合のみ）	
介護保険証（お持ちの方のみ）	

② 入院時の保証金について

入院の際、**現金**でのご用意をいただき受付にてお預かりいたします。

尚、保証金は**退院精算後ご返金**いたします。

返金時は入院保証金預り証が必要なため、なくさないようご注意ください。

保証金 50,000円



① 入院診療費について

- 入院診療費の請求は月末締めで、退院当日に全期間分まとめてお支払いをお願いしております。
- 入院診療費の内容やお支払い方法等で、ご不明な点がございましたら、スタッフまでお問い合わせください。
- 入院中の患者さまに健康保険証（公費受給者証）等に変更があった場合は、受付にご提示ください。
- 診療費のお支払は、受付窓口にて現金払いまたはクレジットカード一括払いとなります。
- 領収書は再発行できません。高額療養費の手続きなどで必要となりますので、大切に保管してください。

② 高額療養費・限度額適用認定書：手続きについて

「限度額適用認定証」を申請する窓口は、加入されている保険の種類によって異なります。病気や怪我の治療で医療費の支払が高くなってしまった場合には、高額療養費の制度が適用され、医療費の一部が払い戻されます。「限度額適用認定証」または「限度額適用標準負担額減額認定証」を退院会計までに病院に提出することで、高額療養費分を病院へ支払わなくて済みます。入院時までに保険証とともに受付へ提出ください。

■ 限度額適用認定証の交付

協会けんぽ	→	全国健康保険協会・都道府県支部
国民健康保険	→	市役所・町村役場
共済・組合健保	→	各健康保険組合が職場の担当部署

当院ではマイナンバーカードでも申請可能です。お持ちの方は即日申請出来ます。詳しくは受付窓口へお声かけ下さい。

- ※ 入院の時期があらかじめ分かっている方は、入院前に手続きをお願いします。
- ※ 緊急の入院など入院前に手続きが出来なかった場合でも、同一月内に病院に提出いただければ利用できる場合がありますので、お早めに手続きください。
- ※ 詳細は各保険者の窓口にお問い合わせください。

■ 手続きの流れ（各保険者へ申請する場合）

1. 申請書類を入手し、申請手続きの方法などを確認
2. 申請書類を記入し、ご加入の保険者窓口へ申請書を提出
3. 各保険者の窓口より限度額適用認定証を入手
4. 入手した限度額適用認定証を病院に事前に提示
5. 病院での医療費の支払いが自己負担限度額までとなる



③ 高額療養費・限度額適用認定書：自己負担限度額について

限度額は以下のとおり所得によって異なります。

また**食事代や個室代（自費負担分）などは対象となりません。**

ご不明点は医事課スタッフまでお問い合わせください。

■ 69歳以下の方

適用区分（所得金額）	自己負担限度額		食事負担 （1食）
	3回目まで	4回目以降	
ア：901万円超	252,600円+（総医療費-842,000円）の1%	140,100円	510円
イ：600万円超901万円以下	167,400円+（総医療費-558,000円）の1%	93,000円	
ウ：210万円超600万円以下	80,100円+（総医療費-267,000円）の1%	44,400円	
エ：210万円以下	57,600円		
オ：住民税非課税者	35,400円	24,600円	240円

■ 70歳以上の方

適用区分（所得金額）		自己負担限度額		食事負担 （1食）	
		外来 （個人単位）	外来＋入院（世帯単位）		
			3回目まで		4回目以降
現役並の所得者	現役並みⅢ：課税所得※1 690万円以上	252,600円＋（総医療費-842,000円）の1%		140,100円	510円
	現役並みⅡ：課税所得 380万円以上690万円未満	167,400円＋（総医療費-558,000円）の1%		93,000円	
	現役並みⅠ：課税所得 145万円以上380万円未満	80,100円＋（総医療費-267,000円）の1%		44,400円	
一般※1		18,000円 ※2	57,600円		
Ⅱ：低所得(住民税非課税世帯)		8,000円	24,600円		240円
Ⅰ：低所得 （住民税非課税者 年金収入80万下）			15,000円		110円

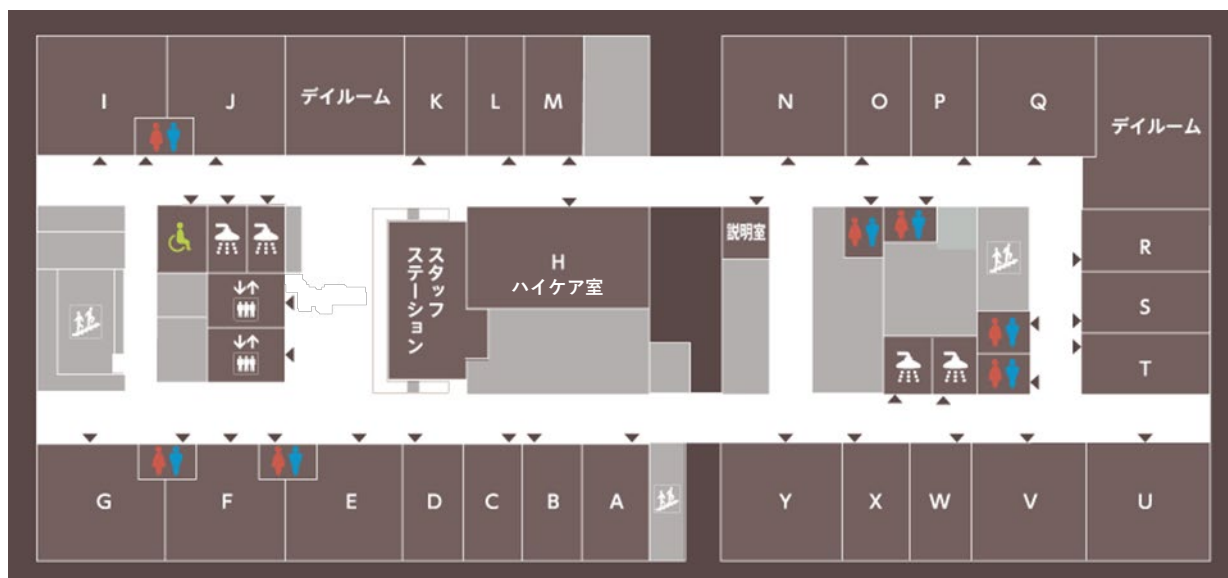
※1：70歳以上で、一般・現役並みⅢに該当する方は申請なく限度額までのお支払いとなります。
（限度額証の申請は不要です）

※2：年間上限144,000円となります。

① 特別療養環境提供品目

- 入院当日・退院当日も1日料金が発生いたします。
使用状況により、ご希望に添えない場合がございます。
あらかじめ、ご了承のほど、お願いいたします。
- 差額ベッド代が発生するお部屋をご利用の方は、TV・保冷庫共に制限なく使用することができます。また、大部屋ではTVなど音の出る機器を使用される場合、必ずイヤホンをご使用ください。
- 患者さまの状態に応じて安全でよりよい看護サービスを提供するために、手術後や状態の観察を十分に必要がある場合、スタッフステーション隣の病室（ハイケア室）に一時的に移動していただきます。
※ハイケア室は男女混合の相部屋となります。

種別		設備	部屋番号	差額ベッド代 (税込み/日)
ア	個室 1人部屋	・ シャワー ・ トイレ ・ 洗面台 ・ デスク ・ 収納 【制限なく使用可】 ・ 保冷庫 ・ TV	ABCD KLOPRST WX	11,000円
イ	個室 1人部屋	床、家具木製仕様 ・ デスク ・ 収納 ※トイレ・シャワー共同 【制限なく使用可】 ・ 冷蔵庫 ・ TV	M	8,250円
ウ	大部屋 4人部屋	・ クローゼット ・ 壁仕切り付 ・ デスク ※トイレ・シャワー共同 【制限なく使用可】 ・ 保冷庫 ・ TV	QUV	4,950円
エ	大部屋 4人部屋	※トイレ・シャワー共同 【有料】 ・ 保冷庫 ・ TV	EFGIJNY	差額ベッド代は発生しません



② 設備について

品目	
テレビ 	● 差額ベッド代が発生しない大部屋をご利用の方は、テレビカードが必要です。 ● 1ベッドに1台テレビが設置されています。
保冷库 	● 当院では、保冷库を各お部屋に設置しています。 ● 差額ベッド代が発生しない大部屋をご利用の方は、保冷库の使用にテレビカードが必要です。100円/24時間使用ができます。 ● 保冷库は、冷蔵庫とは違い冷やす機能はありません。冷えている物を冷えている状態に保つ保存庫となります。
ランドリー設備 	● 当院にはランドリー設備がありません。 ● 院内での洗濯はご遠慮ください。 ● 洗濯はご家族さままで行っていただくか、クリーニング業者への委託（有料）となります。 ※有料クリーニングについては、別紙をご参照ください。
自動販売機 	● 3階 デイルームに温かい飲み物、冷たい飲み物、軽食の自動販売機が設置されています。 ● お札は千円札のみご利用いただけます。両替機はないため、千円札・小銭のご用意をお願いいたします。 ● 電子マネー決済対応可能です。（チャージは不可）

対応可能電子決済： ・Kitaca ・Suica ・PASMO ・tolCa ・manaca ・ICOCA
 ・SUGOCA ・nimoca ・はやかけん ・nanaco ・Redy
 ・WAON ・ID ・QUICPay ・微新支付（WeChatPay）
 ・Rpay ・d払い ・LINEPay ・PayPay ・mPay ・auPAY

※PiTaPaは利用不可

■ テレビカードについて

- 3階 ナースステーション横のデイルーム内に設置された販売機で購入することができます。
- 利用時間：1枚：1,000円（税込み）/テレビ：900分、保冷库100円/24時間
- 100分以上残高のあるテレビカードは1階 受付にて清算することが可能です。
- 千円札のみご利用できます。（※1万円札、5千円札はご利用できません。）
- 両替機はありません。千円札・小銭のご用意をお願いいたします。



③ 日常生活のサービスに係る備品・料金

■ 消耗品について

保険診療と直接関係のない日常生活上のサービスにつきましては、下記の料金をいただきます。

品目	金額（税込み）	品目	金額（税込み）
キャストシュー 	2,750円 / 個	T字帯	176円 / 個
シャワーカバー 	足：1,100円 / 個 手： 748円 / 個	ワンタッチT字帯	540円 / 個
イヤホン（片耳）	220円 / 個	T字カミソリ	220円 / 個
アイシングフィット 	1,485円 / 個		

※ 自費装具については、医師が必要と判断した際に支払いが発生する場合がございます。

品目		金額（税込み）
オムツ	テープ型	220円 / 枚
	リハビリパンツ型	330円 / 枚
吸収パッド・アメニパAサブパッド		各220円 / 枚
尿とりパッド		110円 / 枚

※ オムツ類は後処理の都合上、業者指定のオムツを使用しているため
持ち込みはお断りしています。



■ 有料貸出（レンタル） 有料クリーニングについて

セット内容に関しては別紙をご参照ください。



① 持ち物についての注意事項

- **持ち物には、お名前を書いてお持ちください。**
- 治療内容により入院時の持ち物を追加する場合があります。
- お荷物は最小限でお願いいたします。



② 現金・貴重品の取り扱いについて

- **多額の現金・貴重品の持ち込みはご遠慮ください。**
- 各病室にある備え付けのセーフティーボックスをご利用いただき、必ず施錠してください。
- セーフティーボックスをご利用の際は、鍵の保管にお気を付けください。
万が一、盗難にあった場合、当院は責任を負いかねます。
※鍵を紛失された際は、弁償金として3,300円（税込み）をご負担いただきます。



③ 持ち込み不可のもの

- **改正健康増進法第25条の5に基づき、全館（敷地内を含め）禁煙の為タバコや加熱式タバコに準ずるものの持ち込みは禁止です。**
- オムツ類
- 寝具類（シーツ、枕カバーなど）
- やけどの可能性がある物（カイロや電気ポットなど）
- 危険物（はさみや刃物、縫い針など）
- 感染管理上問題があるもの（加湿器など）
- 生花・植木

■ 持ち込み・差し入れ食について

食中毒予防と栄養管理のため、持ち込み・差し入れは原則禁止です。

※高齢者で食欲不振の患者さまや、低栄養で院内食では対応が難しい場合など
医師の指示でご家族さまにご協力をお願いする場合があります。



④ 必ずご用意いただくもの

品目		チェック欄
下着・肌着		
靴下		
着脱しやすいゆとりのある上着		
洗面道具	 ● 体洗い用：スポンジ・柄付きブラシなど ● 歯ブラシ・歯磨き粉 ● プラスチック製コップ	
マスク		
クッション性のある運動靴（ランニングシューズ等） ※サンダル(クロックス含む)・スリッパ不可	 	
ティッシュペーパー		
ストロー付ペットボトルのキャップもしくは 吸い飲み	 	
お薬手帳・服用中のお薬（入院期間より2週間程多くご持参ください）		
印鑑		
必要な範囲の現金など（現金・貴重品についての詳細はP.9を参照ください。）		

膝：人工関節置換術 （予定の患者さまのみ）

- 膝リハビリ用クッション

股：人工関節置換術 （予定の患者さまのみ）

- 靴べら（50cmくらい）
- 柄付きブラシ（体洗用）

パジャマ・寝間着		有料貸出（レンタル）しています。別紙ご参照ください	
タオル類		● フェイスタオル ● バスタオル 有料貸出（レンタル）しています 別紙ご参照ください。	

⑤ 必要があればご用意いただくもの

以下の品目は病院ではご用意することができません。
必要な方は、お持ちください。

品目		チェック欄
リハビリ用衣類 ジャージ等のゆとりのある動きやすい服装 (デニム、スカート、タンクトップ不可)		
電気シェーバー		
義歯（入れ歯）		
眼鏡・コンタクトレンズ		
補聴器		
各種ケース（保管用の入れ物）		
洗剤など		
洗面器 ※浴室に備え付け洗面器はございません		
マジックハンド：人工関節置換術（股・膝） 予定の患者さま		

■ 食器類について

- 食事の際の箸・スプーン・フォーク・湯飲み茶碗は、病院で用意いたします。



※食事（一例）

⑥ その他の持ち物

スマートフォン・携帯電話・PC・DVDプレイヤー持ち込みは可能です。
但し、使用場所とマナーを守っていただき、周囲の方々の迷惑とならないようご協力をお願いいたします。病院内で使用する際は下記にご注意ください。

- コンセントの利用は可能です。但し、治療が最優先となりますのでコンセントの利用を制限させていただきます場合があります。
- 持ち込み機器の故障・紛失・データ消失等、いかなる場合でも当院では責任を負いかねます。
- 注意事項をお守りいただけない場合は、使用禁止とさせていただきます。

■ スマートフォン・携帯電話・PC・DVDプレイヤーの持ち込みについて

- 使用時間 : 午前 8時～消灯時間
- Wi-Fi環境 : デイルームにおいて利用可
- 待ち受け状態 : 院内では必ずマナーモードに切り替えて下さい。
- 通話する場合 : **大部屋での使用はできません。**
デイルーム、若しくは個室での使用は可能です。
大声や長電話など周囲の方へ迷惑とならないようマナーにご配慮ください。
- 音を出す場合 : デイルーム・大部屋では、イヤホンを使用してください。
個室の場合も隣接する病室の方に迷惑にならないようご配慮ください。
- 使用禁止場所 : 1階待合室、診察室、多床病室でのご使用は禁止させていただきます。
※当院では、携帯電話が医療機器に誤作動等の影響を与える可能性があるとの理由から院内（建物内）における携帯電話の使用を一部禁止させていただいております。
※院内で職員が使用しているPHSは、医療機器に影響を与えない微弱な電波を用いた医療用PHSで、安全性が確認されています。



⑦ 入院時ご持参いただくお薬について(持参薬)

当院では患者様が入院中に安全に薬を使用していただくために、入院時に現在使用されている薬剤を確認しております。

入院時には以下のものをご持参いただくようお願いします。



- 現在使用されている薬剤

飲み薬、塗り薬、貼り薬、注射薬など使用しているもの全て。

※できるだけ薬局からもらったままの状態で(細かく切ったり、シートから出さずに)お持ちください。

入院期間は前後する可能性がありますので、可能であれば**予定入院期間より2週間程度多く**薬剤をご持参ください。(整形外科病院のため、持参薬が不足した際には速やかにお薬のご用意が出来ない場合があります。)

- 最新のお薬手帳や薬剤情報提供書(お薬の説明書)

現在使用している薬剤が分かる内容のものをお持ちください。

※現在使用していない薬剤は持参しないでください。

※上記以外のもの(日用品など)はお預かりできませんので、別にして分けてお持ちください。

入院中に家族などが代理でかかりつけ医にお薬をもらいに行くことは原則としてできません。

かかりつけ医であらかじめ多めに処方していただくなどご協力をお願いします。

(入院中に薬剤が不足する際には当院にて可能な限り代替薬をご用意いたします。)



① 基本的な入院生活

入院後に受けられる治療や手術について「入院診療計画書」など用いてご説明します。
検査や治療の内容、看護の内容についてご不明な点やご質問がありましたら
遠慮なく主治医・看護師にお申し出ください。

6 : 00

起床 検温

採血などの検査や
体調の確認を行います



■ ナースコールについて

看護師に御用の際、押してください。
会話が出来ます。
夜間は応答せず、直接伺いますので、
お待ちください。

7 : 00

診察（回診）

主治医ごとに時間が異なります

8 : 00

朝食

ご自身で召し上がれない方には
看護師がお手伝いいたします

9 : 00

検温

診察・検査・処置、リハビリ等

あいている時間に
シャワー浴をしてください



■ シャワー浴について

9:30～17:00まで利用可能
医師の許可により、シャワーをご利用
いただけます。

12 : 00

昼食



■ リネン交換について

シーツ、枕カバー、掛け布団カバーは、
定期的に交換いたします。
汚れた場合は、適時交換いたします。

13 : 00

検査・処置、リハビリ等

あいている時間に
シャワー浴をしてください



■ 医師からの症状説明を受けたい場合

医師からの症状説明や面談を
ご希望の際は、事前に医師または
看護師にお知らせください。

17 : 00

検温

18 : 00

夕食

21 : 00

消灯

消灯前までに身支度や
トイレを済ませましょう



■ 備品について

体温計・テレビのリモコン・ロッカー・
セーフティボックスの鍵など故障・紛失時は
自己負担となります。

② 入院中の他医療機関受診について

保険診療の制度では、入院中に他の医療機関を受診したり、薬の処方（内服薬・目薬・軟膏・湿布など）を受けることは原則できません。

他の医療機関受診が必要な場合は、病院で手続きをとりますので、担当看護師にお申し出下さい。

当院に届かず、他の医療機関を受診された場合は、その医療費は自費で患者さまのご負担になることがありますのでご注意ください。

③ 外出・外泊について

外出や外泊の際には、医師の許可が必要です。

外出・外泊届に記載をいただき、許可を得る必要があります。ご希望される場合は担当医師・看護師にご相談ください。

※無断で外出・外泊された場合には、直ちに退院していただくことがあります。

④ 面会について

感染症の流行時には随時状況により、面会制限や中止の可能性あります。変更の際は、別紙にてお知らせいたします。

ご面会時間をお守りください。

尚、患者さまの病状等により、面会時間を制限させていただく場合があります。

■ 平日のみ

14時00分 ～ 19時00分

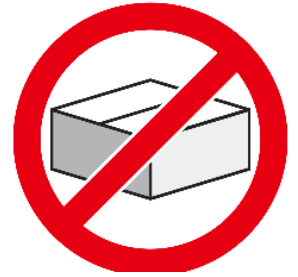


■ 面会の注意事項について

- 当院では、電話による入院中の患者さまについての質問や面会の問い合わせには対応しておりません。関係者の方への連絡は、ご家族の方からお願いします。
- 面会にお越しいただきましたら、1階受付にて面会受付をお願いします。
面会者証を着けた後、エレベーターで3階病棟へお上がりください。
- 感染予防の観点より小学生以下のお子様の面会については、お断りさせていただいております。

⑤ 郵便物及び宅配便等の取り扱い

当院宛に郵送物や宅配便を送ることは原則禁止です。但し、やむを得ない事情がある方は、あらかじめご相談ください。



⑥ 迷惑・危険行為の禁止

医療は、患者さまおよび医療者側の相互信頼関係のもとに成り立っております。

以下のような行為や病院職員の**指示等に従っていただけない際には、退院していただく場合**や必要に応じて警察へ通報する場合がありますので、予めご了承の上、ご協力をお願いします。

- 他の患者さまやスタッフに対する暴言・暴力・セクシャルハラスメント・その他迷惑行為により、診療や業務に支障が生じる場合
- 病院の敷地内において、飲酒・宗教・政治活動をされた場合
- 職員に対する文書作成の強要・面談の強要や器物破損をされた場合
- 他の病室・病床への理由なき入室や、他の患者さまへの迷惑行為、その他円滑な診療を妨げる行為をされた場合
- 病院建物内及び敷地内は改正健康増進法第25条5の定めるところにより禁煙となっております。患者さま、または面会者さまの加熱式タバコを含む喫煙が、当院敷地内（特にトイレ）で確認された際は、直ちに退院、または院外退去していただきます。
また**当院が必要と判断した際にはクリーニング費用として50,000円を請求させていただきます。**これらの措置は他の入院患者さま、並びに職員の安心安全を守るためでありますので何卒ご了承の程お願い申し上げます。



⑦ 食事について

病院での食事は治療食となる為、献立の変更はできません。

但し、アレルギーや疾病、食事制限がある方は、入院前にご相談ください。

当院の栄養士が患者さまの運動量に適正なカロリーや必要な栄養素を計算し、調理師とともに、適した温度を保てるよう工夫し、皆様に喜んでいただけるよう努力をしております。

また、当院では国から定められた料金で、お食事のご提供しておりますので、残念ながらご提供以外の献立のご用意ができません。

注意事項

● 喫煙

手術が決まったらすぐに禁煙をお願いします。また、喫煙により手術の後の感染率が高くなり、傷口の治りが悪くなります。骨を切る手術では、術後骨が治りにくくなることが報告されています。タバコを吸っている方は、手術の後に咳や痰が多くなります。そのため、肺炎を起こしやすくなり、傷の痛みも強くなります。

● ぐらぐらする歯

呼吸のためのチューブやマスクを挿入する操作や、麻酔から覚めるときに歯をくいしばることによりグラグラした歯や義歯を損傷することがあります。可能でありましたら、事前に歯科を受診し、治療もしくはマウスピースの作成をお願いいたします。

● ジェルネイルやマニキュア

爪にジェルネイルやマニキュアが塗られている場合、指に装着するパルスオキシメーターで血中酸素飽和度(血液中に含まれている酸素量)を測定することができなくなり、安全に全身麻酔を行うことが難しくなります。手術前には、あらかじめジェルネイルやマニキュアを除去していただくようお願いいたします。

● つけまつ毛・まつげエクステ

つけまつげ・まつげエクステもお控えください。全身麻酔中は目の乾燥を防ぐためテープを貼って、まぶたを閉じるようにしています。その際、つけまつ毛やまつげエクステで目を傷つける可能性があります。(まつ毛パーマは形が変わる可能性がある旨をご了承下さい。)

● 髭(ひげ)の剃毛

気管挿管したチューブは、口の周囲にテープを巻いて固定しています。口の周りに髭が伸びてしまうと、十分な固定を得られず、予期せずチューブが抜けてしまう危険性が高くなります。安全のため、術前には髭の処理(剃毛)をお願いいたします。

● アクセサリー

指輪・ネックレス・ピアス(耳・ボディピアス・口腔内全て)などのアクセサリー類は、手術中に電気メスを使用することがあり、やけどや感電の危険性があります。入院前に外してきてください。

● コンタクトレンズ

コンタクトレンズは、手術中に角膜損傷を起こす可能性があるため、手術室入室前に必ず外してきてください。



① 退院手続きについて

主治医から退院のお知らせがありましたら、退院について担当看護師とご相談ください。
退院会計は退院当日に請求書の準備が出来ましたら、病棟スタッフより患者さまへ
お声をお掛けいたします。お迎えのご家族さまがいる方は病院到着後受付へお声掛けください。
1階会計窓口で精算します。
退院時には「退院証明書」をスタッフからお渡ししますので、3か月間の保管をお願いします。



② 診断書・証明書が必要な方へ

診断書・証明書が必要な場合は、受付窓口でお申込ください。退院当日からお渡しするまで
約1か月程度の日数を要します。

また生命保険会社にご提出の入院証明書（診断書）は、生命保険会社指定の様式が
ございます。あらかじめ指定の用紙を取り寄せて、お申込ください。
尚、診断書・証明書類は有料となります。

ご不明な点がございましたら、医事課スタッフにご相談ください。

品目	金額（税込み）
院内様式一般診断書（職場・学校・警察提出用）	3,300円
生命保険関係診断書	5,500円
身体障害者認定用診断書・意見書	8,800円
年金（国民・厚生・障害者）用診断書	8,800円
医療等の状況（スポーツ振興センター証明書）	0円
画像記録用CD	550円

① 患者さまの本人確認のご協力

患者さまがご本人であることを確認するため、以下の際にお名前を確認させていただいております。
職員と一緒に安全確認にご協力ください。

- お薬を渡す時、配膳をする時
- 検査・採血をする時
- 手術、点滴や輸血を受ける時 など

② 転倒・転落のご注意

患者さまの病気や状態によっては、転倒・転落の危険が生じることがあります。必要に応じてベッドの工夫や部屋の移動、薬剤の使用、離床センサーの設置などの危険防止対策を行うことがあります。また、病状や危険が予想される場合には、ご家族の付き添いをお願いしております。

③ 防災・安全について



- 当院は**全館（敷地内含め）禁煙**です。
改正健康増進法第25条5に基づき、全館（敷地内を含め）禁煙の為タバコや加熱式タバコに準ずるものの持ち込みは禁止です。
- 入院患者さまは医療上安全面を考慮し、ご自身で運転するお車での来院・退院は原則禁止とさせていただいております。また、当院駐車場内における事故や損害につきましては一切の責任を負いかねます。
- 非常の場合の避難経路・非常口はお部屋に提示しておりますので、あらかじめ確認をお願いいたします。
- 病院内で不審な人を見かけましたら、直ちに当院スタッフにお知らせください。
- 漏電や火災、やけどやコードにひかかり危険などの観点から持ち込み禁止とするもの
 1. 火災の危険があるもの
 2. 電化製品（扇風機、冷蔵庫、電気毛布、テレビなど）
 上記以外でも危険と判断したものは、使用をご遠慮いただきますので、ご理解ください。

④ 入院期間について

リハビリを含め長期の入院治療の必要性が見込まれる場合は、連携先の医療機関への転院をお願いする場合があります。

⑤ 急性期医療の役割のご理解とご協力について

当院は、急性期医療の役割を担っております。そのため、重症あるいは病状の不安定な患者さまを受け入れられるよう常に病床を確保しておく必要があります。
このような理由から、病状が安定した患者さまには、なるべく早期に退院をお願いしております。

⑥ 院内感染防止について

入院患者さまの中には身体の抵抗力が低下している患者さまもいらっしゃいます。
入院中は手洗いの励行や必要に応じて院内でのマスク着用のご協力をお願いいたします。

体調が悪い方は面会をお控えいただきますようお願いいたします。
入院前に体調不良がある方は、必ず当院へご連絡ください。

感染症の流行時には状況により下記の対応をさせていただく可能性があります。

- 面会制限や中止
- 入院制限や中止
- 入院前、入院中の感染症検査（抗原検査等）
- 感染管理のための部屋移動

感染状況によって対応は変わることがありますので、適宜ご案内させていただきます。

※院内でも感染防止対策は十分行っていますが、入院中に感染症にかかってしまう可能性があります。
万が一、入院中の感染症にかかってしまった場合には、病状に応じて適切な処置を行い、退院の延期もしくは早期退院等の予定外の対応をとらせていただく可能性がありますのでご了承ください。

■ 荷物の受け渡しについて

原則、荷物の受け渡しは、平日1階受付にて対応いたします。
詳細は別紙ご参照ください。



① 心配・悩みのご相談/ご不満の申し出について

心配ごとや悩みを相談されたい時、ご不満がある際は、お気軽にご相談ください。

相談された患者さまの情報は秘密保持を厳守いたします。

■ 心配事や悩み事についてのご相談

患者さまが当院での診療や療養生活に満足し、適正な日数でスムーズに退院・社会復帰できるように入院前から退院後まで、支援が必要な場合多職種でサポートいたします。

入院による生じる様々な生活上の悩みに対して、担当者がお受けいたしますので遠慮なくご相談ください。

■ ご不満のお申し出について

患者さまが当院での診療や療養生活を過ごされる中で、ご不満や迷惑をかけられているなどがある場合については、スタッフにお申し出ください。

内容に応じて、担当部署と調整や改善を図るよう対応いたします。

② 個人情報に関するお知らせ

当院では、患者さまに安心して医療を受けていただくために、安全な医療をご提供するとともに患者さまの個人情報の利用目的を明確にし、取扱いには万全の体制で取り組んでおります。

■ 個人情報の利用目的について

患者さまの個人情報は定められた目的で利用させていただいております。

利用目的は正面玄関の掲示板に掲示させていただいておりますので、ご参照ください。

これら以外の目的で患者さまの個人情報を利用させていただく場合には、改めて患者さまから同意をいただいております。

① 連絡先について

- 病院名 : 医療法人社団 高志館 レイクタウン整形外科病院
- 院長 : 安村 建介
- 住所 : 〒343-0828
埼玉県越谷市レイクタウン5丁目13番地6
- アクセス : J R 武蔵野線越谷レイクタウン駅 北口より徒歩10分
- 電話 : 048-987-2277
- F A X : 048-987-2278



■ クレジットカード

使用可能なクレジットカードは、以下の通りです。
最低使用金額などの設定はございません。



② 施設について

- 施設案内
 - 1階 : 受付、待合スペース、診察室、処置室、採血コーナー、生理機能検査室、放射線科、リハビリテーション室（外来・通所）など
 - 2階 : 手術室、中央材料室、入院患者リハビリテーション室、厨房など
 - 3階 : 病室（大部屋・個室）、ハイケア室、デイルーム（自販機）スタッフステーション、薬剤室、シャワールーム・トイレなど
- 医療器械 : MRI・CT・X線・骨密度・エコー・手術関連機器・電子カルテなど

③ 看護体制 / 施設基準

■ 地域一般入院料 1（13対1看護体制）

当院は、厚生労働大臣が定める基準による看護(入院基本料)を行なっている保険医療機関です。患者様に対して「13対1看護体制」をとっております。

「13対1看護体制」とは、入院患者様13人に対して、常時看護師1人以上を配置するというものです。チームナーシング制の看護を行なっております。

患者さまやご家族さまには、説明を十分に行ないますので、ご協力とご理解のほどよろしくお願いいたします。

原則として、ご家族さまの付き添いは必要ありません。
医療上、ご家族さまの付き添いが必要な場合は、当院スタッフからお願いしております。
その場合は個室対応となるため別途料金が発生いたします。

■ 施設基準

1. 当該病棟において、1日に看護を行う看護職員の数、常時、当該病棟の入院患者の数が13又はその端数を増すごとに1以上であること。
ただし、当該病棟において、1日に看護を行う看護職員の数、本文に規定する数に相当する数以上である場合には、各病棟における夜勤を行う看護職員の数、本文の規定にかかわらず、2以上であることとする。
2. 当該病棟において、看護職員の最小必要数の7割以上が看護師であること。
3. 当該病棟の入院患者の平均在院日数が24日以内であること。

